

むなかた市議会だより

令和6年
3月定例会号

令和6年度当初予算 賛成多数で可決

一般会計

480億2565万8千円
(前年度比67億8914万3千円増)

令和6年第1回宗像市議会定例会を、2月26日から3月26日までの30日間で開催し、市長提案議案41件を審議し、全て同意、可決しました。

今定例会では、令和6年度の予算を審議し、賛成多数で可決しました。

定住都市むなかたの実現に向け、防災対策、食のまち、人への投資、デジタル、脱炭素、重層的支援体制整備、都市再生の7つの主要施策に力を入れた予算編成が行われています。

1ページに予算のうち、いくつかの事業の概要と委員会での主な質疑を掲載しています。
2ページに主な議案と議員の賛否について掲載しています。

1 予防接種事業費

4億703万5千円

高齢者肺炎球菌ワクチンの公費負担額を引き上げ、市民の負担額を軽減する。また、带状疱疹ワクチンについて、市独自の助成事業を開始する。

主な質疑

問 带状疱疹ワクチン接種助成対象者の見込人数と一人当たりの補助額は。

答 50歳以上の人口の約5%、2,348人と見込んでいる。生ワクチンは4,000円、不活化ワクチンは10,000円×2回の補助額を予定している。



2 公共交通利用促進対策事業費

2,892万7千円

ラストワンマイル交通需要調査を実施する。また、ふれあいバスやコミュニティバスの運行状況をリアルタイムに確認できるバスロケーションシステムやスマートバス停の導入を行う。

主な質疑

問 ラストワンマイル交通需要調査の内容は。

答 70歳以上の運転免許証を持たない申請者に利用券を交付し、バス停と自宅の区間でタクシーを利用してもらうことで、需要を把握し、今後の施策の検討材料とする。



3 学校給食管理運営費

5億3,490万6千円

学校給食における地場産物の利活用を拡充する。また、保護者の負担軽減のため、給食費に係る物価高騰分の補助を実施する。

主な質疑

問 地場産のオーガニック食材をどう学校給食に取り入れるのか。

答 月に1回地場産物を利活用する宗像育ちウィークを設け、地場の水産物や有機栽培された米や野菜を給食に取り入れる。



宗像産大豆を使ったカレーの給食

4 教育改革推進事業費

6,599万9千円

水泳授業の外部委託を大島学園・地島小学校を除く小学校に拡充するほか、一斉連絡システムを全校に導入する。

主な質疑

問 一斉連絡システムの内容は。

答 学校・保護者間などでパソコンやスマートフォンを使って、学校・学年・学級・部活動などの単位で添付ファイル付きメッセージの送信やアンケートの実施・集計が可能となる。



5 市立学校体育館空調設備整備事業費

26億2,983万8千円

全ての市立学校体育館に空調設備を整備する。

主な質疑

問 体育館空調の効果を市民に体感してもらう機会の提供は。

答 総合防災訓練や学校開放、発表会の場所などで活用してもらうことができると考える。



すでに空調が整備された城山中学校体育館

6 地域子ども子育て支援事業費

2億525万6千円

病児保育施設の利用料無償化に伴う利用者増に対応するため隔離室の設置などの改修を行うほか、県内初の送迎サービスを実施する。

主な質疑

問 病児保育施設の送迎サービスの内容は。

答 発熱などで急に具合が悪くなった子どもの迎えが必要になった際、保護者から病児保育施設に依頼をすると、病児保育施設から保育所などへタクシーで迎えに行き、そのまま病児保育施設で預かることを想定している。



(現在) 3月補正後

財政調整基金
64 億円

(設置後) R6当初

宗像市安全安心まちづくり基金
30 億円

財政調整基金
21 億円

R 6 当初予算基金
繰入額
13 億円

(将来の目標)

宗像市安全安心まちづくり基金
40 億円

▼各年度の財政状況に応じて随時積み立て。

▼目標額到達までは従来通り財政調整基金含めて災害対応。

▼財政調整基金の残高約64億円から災害対応の財源30億円を切り分け、宗像市安全安心まちづくり基金を設置する。

▼基金の目標額は40億円を想定している。

宗像市安全安心まちづくり基金を
設置

賛成で
全員可決
第7号議案
宗像市安全安心まちづくり基金
条例の制定について

主な議案

賛成者の意見
災害だけではなく、急激な経済情勢の変化に伴う家計の逼迫など市民生活を取り巻く多くの危機に対応するために活用できる基金の設置は、市民に寄り添った施策である。

宗像ユリックスに
「全天候型子どもの遊び場施設」を誘致

主な議案

賛成で
全員可決
第13号議案
宗像総合市民センター条例及び
宗像ユリックス総合公園条例の
一部を改正する条例について

▼全天候型子どもの遊び場施設を誘致するため、プレイ広場を貸出し施設から削る。

▼現在倉庫として使用している会議室2つを貸出し施設に加える。テレワークなどのワークスペースとしての使用を想定。

令和6年度国民健康保険特別会計予算に
ついて

賛成で
全員可決
第32号議案
令和6年度宗像市国民健康保険
特別会計予算について

主な議案

賛成者の意見
基金を活用して保険税額を据え置くことは、加入者の生活状況を救えると考えられる。18歳までの子ども均等割廃止にも引き続き国に声を上げてほしい。

基金を活用し国民健康保険税を据え置き

賛成で
全員可決
第16号議案
宗像市国民健康保険基金条例の
一部を改正する条例について

令和6年度国民健康保険特別会計予算に
ついて

賛成で
全員可決
第32号議案
令和6年度宗像市国民健康保険
特別会計予算について

主な議案

賛成者の意見
基金を活用して保険税額を据え置くことは、加入者の生活状況を救えると考えられる。18歳までの子ども均等割廃止にも引き続き国に声を上げてほしい。

城山中学校旧校舎を解体

主な議案

賛成で
全員可決
第8号議案
工事請負契約の締結について

▼城山中学校の改築に伴い、旧校舎棟、旧屋内運動場棟、外構（駐車場、ごみ置き場など）を解体する。工期は令和6年12月27日まで。

令和6年度宗像市介護保険特別
会計予算について

賛成で
全員可決
第34号議案
令和6年度宗像市介護保険特別
会計予算について

主な議案

賛成者の意見
基金を活用して保険料の引き下げを行うことは評価するが、介護保険制度そのものが崩壊しかけている。介護労働者の賃金格差も大きい。健全な介護保険の運営ができるよう国に働きかけてほしい。

基金を活用し介護保険料を引き下げ

賛成で
全員可決
第15号議案
宗像市介護保険条例の一部を改
正する条例について

令和6年度宗像市介護保険特別
会計予算について

賛成で
全員可決
第34号議案
令和6年度宗像市介護保険特別
会計予算について

主な議案

賛成者の意見
基金を活用して保険料の引き下げを行うことは評価するが、介護保険制度そのものが崩壊しかけている。介護労働者の賃金格差も大きい。健全な介護保険の運営ができるよう国に働きかけてほしい。

令和6年 第1回 宗像市議会定例会 提出議案と議決結果

3月定例会で審議した議案のうち、主な議案を紹介します。全ての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

● 全員賛成で可決・同意した主な議案と内容

議案番号	議案名	内 容
5	宗像市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	地方自治法の改正に伴い会計年度任用職員に勤勉手当を支給するため、条例を改正するもの
20	市道路線の認定について	道路法の規定に基づき、市道路線を認定するに当たり、議会の議決を求めるもの
39	副市長の選任について	副市長として選任することについて、地方自治法の規定に基づき、議会の同意を求めるもの
40	宗像市教育委員会教育長の任命について	宗像市教育委員会教育長として任命することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、議会の同意を求めるもの

● 賛否が分かれた議案と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）

議案番号	議案名	議員氏名 議決結果	川内 亮	石松 修	木藤 裕司	石田和代志	岩岡 良	上野 崇之	井浦 潤也	笠井香奈枝	小林 栄二	吉田 剛	森田 卓也	安部 芳英	岡本 陽子	北崎 正則	伊達 正信	福田 昭彦	新留久味子	石松 和敏
6	宗像市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○
31	令和6年度宗像市一般会計予算について	可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○
33	令和6年度宗像市後期高齢者医療特別会計予算について	可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○
37	令和6年度宗像市下水道事業会計予算について	可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○

※神谷建一議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

会派の主張

市議会では、同じ考え方を持つ議員が集まってグループを作ります。このグループを会派といいます。宗像市議会には、令和6年3月1日現在で、8つの会派があります。それぞれの会派の活動方針などを紹介します。

宗像志政クラブ

むなかたしせい

心を合わせて宗像づくり

代表／伊達 正信



(後列左から) 井浦潤也議員、小林栄二議員、石田和代志議員、木藤裕司議員、石松修議員(前列左から) 神谷建一議長、伊達正信議員、吉田剛副議長、安部芳英議員

私たちの会派は農家、飲食店、保険、観光、自営業など、さまざまな経験のある議員で構成し、日々の経済活動を通じて培ってきた民間視点を宗像のまちづくりに生かすべく、一致団結して進んでいます。それぞれの議員が自治会・コミュニティ活動や保護者会、青少年育成、文化スポーツ指導者、交通安全見守り、まちづくりイベントなど、それぞれの地域に根差し、一市民として、また当事者として深く関わりながら声なき声を聴き、想いを受け止め、地域の課題の解決のために積極的に取り組んでいます。

令和5年度は、保育士等の処遇改善や小中学校体育館への空調設備設置工事について国会議員へ要望活動を行い、2024年問題の視点から宅配便の再配達を抑制するために関係団体から話を伺い、市長に要望活動を行うなど具体的に行動をしました。また、県議と連携して農業・漁業・商工業の関係者との意見交換も積極的に行い、頂いたご意見を参考に調査研究し、改善提案や要望活動につなげました。学校給食に地元有機野菜の活用推進をはじめ、私たちの行動によって前進した取り組みも着実に増えており、手応えを感じています。令和6年度も宗像市議会の最大会派として国・県とのつながりや人脈を生かし、前向きな提案を行いながら、より良い宗像づくりのために努力してまいります。

公明党

こうめいとう

「市民目線・生活者視点」で市民に寄り添う

代表／石松 和敏



(左から) 岡本陽子議員、石松和敏議員

公明党は今年11月に結党60周年を迎えます。「大衆とともに」の立党精神を堅持し、「市民目線・生活者視点」の立ち位置で、今後とも地域や市民の小さな声を聴き寄り添って課題解決に向けて活動してまいります。市政においては、ロシアによるウクライナ侵略も2年が経過し、エネルギー関連や食料品などの物価上昇が続く、多くの市民が苦勞しています。公明党の推進により、低所得世帯向けの給付金7万円に、低所得の子育て世帯の児童一人に

つき給付金5万円の上乗せを実現しました。また、学校・保育所などへの物価高騰分給食費補助や、高齢者・障がい者施設などへの物価高騰対応支援など地方創生臨時交付金を積極的に活用するよう要望し、実現しています。水泳授業の民間委託や带状疱疹予防接種費用の補助も実現し、「書かない窓〇」の導入は来年1月から開始され、申請書の記載が不要となり市民の利便性が向上されます。

未来むなかた

みらい

未来へむけ、まちの新たな魅力をつくる

代表／北崎 正則



(左から) 北崎正則議員、上野崇之議員

私たち「未来むなかた」は、二期目の上野崇之、三期目の北崎正則の二人会派です。二人の共通しているモットーは「働く人たちのため」であり、また、互いに暮らしている日の里地区や玄海地区の課題を解決していくため、日々の活動に取り組んでいます。活動の主な柱は三つ一、地域の暮らし、産業の未来を創り出す二、多世代で住み続けられ、ともに学び支え合って生きる社会

の構築三、市民の移動手段を確保する公共交通機関の構築上野議員は、子育て真っ最中ということもあって、子育て世代の課題や日々の生活の中での気づきを大切にしています。私、北崎は、元教師という立場から教育環境やスポーツ・文化活動の充実にも積極的に取り組み、「このまちより住みやすいまち宗像」を目指して、市政の場で提案していきます。

日本共産党

代表／新留 久味子

今こそ！

命・暮らしを守るために
全力で奮闘

日本共産党市議団は、暮らしの実態、市政に対する要望などを把握するために「市民アンケート」に取り組んできました。

その中で、市民の暮らしが「どちらかと言えば悪くなった」「悪



(左から)新留久味子議員、川内亮議員

くなった」が7割を超え、原因は「物価高騰」97%、「税金や公共料金の負担が大きい」64%で、市民の暮らしが厳しさを増している状況が分かりました。市政に対する要望は「子育て・教育行政の充実」51%で全体の約半数を占め、内容は「18歳までの医療費の無償化」「教職員の負担軽減」「保育料や給食費の軽減」「小中学校の給食費無償化」です。残りは、「防災対策の強化」40%、「公共交通網の整備」34%でした。さらに市政に対し「やや不満」「不満」は61%で「満足している」はわずか2%でした。

今こそ、市民の声を聞き、暮らしを応援する市政へ！わたしたちは、税金の使い道を厳しくチェックするとともに、命・暮らしを守るために全力で奮闘していきます。



市民連合

代表／福田 昭彦

市民目線で
市政を厳しくチェックしていく



市民連合は、市民の声を市政に反映していく会派です。常に市民目線で市政を監視することが大変重要だと考えます。

時に行政は、市民不在のまま政策を押し進める可能性があります。行政が行う施策が果たして市民に本当にプラスになるのかどうかを市民目線で厳しくチェックし、市民ファーストになる施策を推進していく必要があります。

どこの政党にも属さない、どこの団体にもつながっていない、完全独立会派だからこそ、市民の立場に立つて自由に意見を主張することができます。会派なのです。

日本維新の会

代表／岩岡 良

古い政治を壊し、
新しい政治を
創る



日本維新の会は、「これまでの政治の延長線上に解決策はない」という理念の下、「改革」によって政治を前に進めます。国や県の判断がなければ市民の生活を守れない現行の地方自治制度を根本から見直し、権限と財源の地方移転を希求します。

眼下に広がる課題を同質・同様のものとして次世代に引き継がせることがないよう、逃げることなく課題の本質に焦点を当てた議論を展開します。

そのために自らがらみを断つべく、特定の団体・組織から一切の支援を受けません。本当に必要な方への支援を可能とするため、「身を切る改革」を実践し、さらなる議会改革・行財政改革から財源捻出に挑みます。

ふくおか市民政治ネットワーク

代表／笠井 香奈枝

誰もが
安心して
暮らせるまちに



ふくおか市民政治ネットワークは、この34年間市議会に女性議員を送り出し続け、生活の課題を市民と共に解決するために活動してきました。

子育て・介護を1人で負担するのではなく、社会的サポートの充実を市に働きかけてきました。また、高齢者や障がいのある方から不安や悩みを聴き取り、政策提案も行っています。

特に、子どもが健やかに育つために、遊ぶ権利・学ぶ権利の保障と個に応じた学校教育が重要だと考え、発言してきました。

同時に食の安全と環境を守る施策を推進し、次の世代も安心して住み続けられるまちを目指しています。これからも、市民目線で活動していきます。

未来保守クラブ

代表／森田 卓也

10年後
もつと誇れるまち
宗像へ



令和4年の3月議会から会派「未来保守クラブ」を設立して活動しています。

私は、市民の皆さんは郷土への誇りと未来への夢を抱き、まちのさらなる発展を期待していると感じています。

このため、これからも市民の皆さんとの「未来志向の対話」を重視し、教育、子育て、環境、商工業、都市再生、健康福祉などさまざまな分野で政策を提案し、若者世代が戻り、活気あふれるまち、子育てしやすいまち、暮らしやすいまちを行政との協調を基本に力タチにしていきます。

「10年後もつと誇れるまち宗像へ」未来志向で前向きな会派「未来保守クラブ」をどうぞこれからもよろしく願っています。

代表質問

代表質問とは、市政の基本方針である施政方針に対して、2人以上で構成する会派の代表質問者がその見解を問うものです。

令和6年2月27日に4つの会派が令和6年度施政方針に対して質問を行いました。

◆令和6年度施政方針は5月号のむなかたタウンプレスや市ホームページに掲載しています

宗像志政クラブ



代表質問者
伊達 正信

施政方針について



問 プレハブ校舎の解消は、地域住民の関心も高く、早急な建て替えが望まれるが、市の見解は。また、学童保育所の老朽化について、地域住民との情報共有の状況や協議の場づくりの予定は。

答 赤間小学校と東郷小学校は敷地が非常に狭く、プレハブ校舎解消のための敷地確保が課題であったが、水泳授業の外部委託に伴い、プール施設を優先的に解体撤去し、本設の校舎の建築工事の実現を検討したい。学童保育所の老朽化について、特に赤間小学校は、地元コミュニティ運営協議会からも意見や要望を受けている。同校は、令和3年度に施設の再配置計画案を作成するためのワークショップを開催しており、基本計画策定の段階において、改めて協議・調整の場を持ちたい。なお、両校とも学童保育所の更新時期の前倒しを含めて整理していきたい。

問 東京都東大和市では、保育所などで子どもが体調不良になり、保護者が迎えに行くことが困難な場合に、病児保育施設の

保育士が保護者に代わって迎えに行き、病児保育施設で保育する事業を行っている。特に、ひとり親家庭支援施策として本市でも導入できないか。

答 令和6年度から、県内初の病児保育の送迎サービスを開始する予定。

問 学校給食における有機野菜の利用促進について、具体策はあるか。

答 令和6年度から、月に1回、地場産物を積極的に活用する宗像育ちウィークを設け、有機栽培された米や野菜を給食に取り入れる予定である。

問 日の里地区におけるオンデマンドバスの評価と、今後の展望は。

答 新たな移動の創出やまちのイメージ向上など、団地再生の推進に寄与していると評価している。今後は地域の面積、規模、道路状況から適性を判断し、効果なども勘案し、既存コミュニティバスなどからの転換を図るほか、協定に基づく研究会や地域公共交通会議、事業者、地域住民と協議を進め、導入に向けた検討を行う。

問 脱炭素社会の加速のため、宅配便の再配達対策にどう取り組むのか。

答 郵便局を含む市内宅配事業者と協議を重ね、広報紙や市公式SNSなどを活用して再配達の削減を促し、モニターを公募して、置き配普及のための実証実験を実施する。



公明党



代表質問者
岡本 陽子

市民に寄り添う市政運営を



問 市長が全力を尽くす一番の市民課題は何か。

答 市民の安全・安心の確保だと考える。

問 こども誰でも通園制度の進め方は。まずは定員に余裕のある保育所などで実施することを想定している。

答 ヤングケアラーコーディネーター(※1)の育成と支援は。

答 県が行う研修会への参加を促すなど、機能を発揮できるよう取り組む。

問 看護小規模多機能型居宅介護(※2)事業所の整備は。

答 1力所整備する予定。

問 定住施策の方向性は。

答 就職の支援や情報提供を強化し、住宅確保の支援に引き続き取り組む。

問 書かない窓口は今後市役所に行かずとも24時間手続き可能にしては。

答 将来的には行かなくてもよい市役所を目指す。

問 コミュニティ活動の負担軽減への取り組みは。

答 現状のシステムなどを見直していく必要があると認識している。

問 将来にわたる安定的で健全な財政運営とは。

答 行政サービスに必要な財政基盤を維持するため、災害など突発的なことに対する基金の蓄えが重要であると考えている。



未来むなかた



代表質問者
上野 崇之

持続可能なまちの未来への道筋を



問 令和4年度施政方針から打ち出された定住都市むなかたの実現に関して、本市の人口動態と課題をどう見るか。

答 出生率は全国平均や福岡県の数値を上回るが、今後緩やかに人口減に転じるとされており、特に20代を中心とする若者の転出が懸念されている。人口維持、労働力確保の観点からも、若

日本共産党



代表質問者
新留 久味子

市民の声が活かされる市政運営を



問 赤間小の改修に併せ学童保育所を改修しては。

答 更新時期の前倒しを含めて整理をしていく。

問 市立学校の体育館空調設備整備の進捗は。

答 令和7年度の夏に使えるよう、令和6年度中の全校整備を予定。



者の定住促進は喫緊の課題である。
問 食のまち宗像の推進という方針に関して、食を通じた取り組みが次世代やまちの未来へつなげる道筋をどう考えるか。

答 学校給食や食育事業で域内消費を推進し、生産者の所得ベースを稼ぐとともに消費者の安心感を支える一方、食のブランド化により市外での高付加価値取引が進むことで、販路拡大や食を目的にした来訪者増を目指す。こうした取り組みで宗像の食の魅力を子どもたちや市外の人に伝え、まちのさらなる成長につなぐ。

問 ここのまちの成長の意味とは何か。

答 本市で多くの人が暮らし、なりわいが続き、多くの人に来訪してもらうことによる持続性、それらが好循環することと考える。



問 島在住の高校生までの渡船料金を補助しては。

答 状況に応じた助成を引き続き検討していく。

問 国保税の均等割を18歳まで軽減しては。

答 全国市長会などを通じて求めていきたい。

問 高齢者のタクシー助成制度の検討は。

答 まずは地域公共交通の利便性向上に向け、バス停までの移動が困難な地域において、バス停までの短距離移動を支えるラストワンマイル対策などの導入に取り組む必要があると考える。令和6年度は交通需要調査を行い、対策を検討していく。

問 利用しやすいダイヤ改正を求めるJR九州との交渉の進捗は。

答 近隣のJR沿線自治体と連携し、要望活動を継続していく。

問 上水道未整備地域の整備をどう考えるか。

答 宗像地区事務組合と協議し、総合的に判断する必要があると考える。

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和6年2月28日から3月1日までの3日間にわたって、
13人の議員が合計22項目の質問を行いました。

- ◆質問を届けた順に掲載しています。
- ◆掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- ◆質問内容の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは5月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



高度衛生管理型
荷さばき所

問 高度衛生管理型荷さばき所の稼働後判明した課題は。また、太陽光発電の設置の進捗は。

答 荷揚げ時に必要な設備の不足や、氷やえさを取り出す場所が離れていることなどの課題がある。多くの漁業者が利用できるよう改善に努めていく。太陽光発電については、3月末に出る調査結果を



宗像の漁業を生かすためには
未来むなかた／北崎 正則



問 地産地消を推進するため、自動車工場の社員食堂などの連携について検討の余地はないか。

答 平成26年から27年にかけて、自動車工場の社員食堂における地産地消の取り組みについてプロジェクトチームを立ち上げ研究をした。従業員が多く、大きな消費が期待されるが、価格、衛生面、使用量、物流で課題があり、実現に至っていない。現状では解決が難しく、宗像産品の納品については困難だと判断している。



持続可能な産業の確立について
宗像志政クラブ／安部 芳英



問 地産地消を推進するため、自動車工場の社員食堂などの連携について検討の余地はないか。

答 導入の意向があれば、支援の検討を行いたい。

問 市内販売や飲食店、給食、ふるさと納税の返礼品の開発など幅広く活用し地域産業の活性化につなげていきたい。

答 より期待される効果は。市内販売や飲食店、給食、ふるさと納税の返礼品の開発など幅広く活用し地域産業の活性化につなげていきたい。

問 本市で取れた魚介類を給食に取り入れているが、その成果と課題は。

答 成果として地産地消や魚食の推進などが挙げられる。魚のサイズを統一して必要数を準備する上で、活魚センターの機能や体制などに課題があると考えている。



DX推進で市民・職員の負担軽減
公明党／石松 和敏



問 災害時の人的支援を受け入れ体制、物資受け入れ体制は。

答 人的支援は福岡県地域防災計画に基づき県に支援を求めるほか、自治体間の協定に基づき他自治体へ支援を要請する。物資は道の駅むなかたなど3カ所を受け入れ、配送拠点を設置し支援物資を市内に配送する。拠点の増設や配送ルートの変更など検討を進める。



大規模災害に備えた取り組みは
宗像志政クラブ／小林 栄二



問 気候変動に伴う本市漁業への影響は。

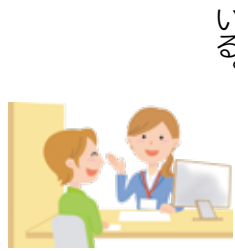
答 漁業経営支援の今後の取り組みは。

問 マイナンバーカードの普及率と証明書のコンビニ交付状況は。

答 1月末時点の交付率(※1)は81.9%で昨年3月末から9ポイント増加。また、取得率(※2)は77.4%である。1月末時点のコンビニ交付の割合は31.1%で、令和4年度から5.6ポイント増加した。

問 令和6年度の目標は。

答 交付率85%、取得率80%、コンビニ交付は40%以上を目指したい。



問 市が導入する「書かない窓口」の内容は。

答 市が導入する「書かない窓口」の内容は。



保育所のインシシ対策支援を
日本共産党／川内 亮



問 令和4年4月からの不妊治療の保険適用開始により、かえって自己負担が大きくなる事例が多数報告されている。本市独自の助成制度構築を求めているが、進捗は。

答 令和6年度に策定する宗像市こども計画に少子化対策の一環として位置付けた上で、助成の具体の取り組みを開始する。



不妊治療に対する助成を
日本維新の会／岩岡 良



問 令和4年4月からの不妊治療の保険適用開始により、かえって自己負担が大きくなる事例が多数報告されている。本市独自の助成制度構築を求めているが、進捗は。

答 令和6年度に策定する宗像市こども計画に少子化対策の一環として位置付けた上で、助成の具体的取り組みを開始する。



実際に園庭に現れた
イノシシ

問 玄海地区の保育所で、施設や保護者による対策にもかかわらず、イノシシが度々侵入して園庭を荒らしている。園や保護者から不安の声が寄せられており、市として対策を支援できないか。

答 必要に応じて国や県の補助金に関する情報提供を行う。また、周辺で集中的にわなによる捕獲を行い、3年



定住都市むなかたの目指す姿は
宗像志政クラブ／吉田 剛



問 学童保育は、放課後などの子どもの遊びや生活の場であり、保護者にも不可欠な事業。市の児童数は減少しているが、利用者数は増加している。

答 今後、学童保育の入所希望者が定員を超える場合、どう対応するのか。



より良い学童保育所を
ふくおか市民政治ネットワーク／笠井 香奈枝



問 学童保育所指導員の処遇改善のための策は。

答 国の交付金を活用した処遇改善を行っているほか、給与のペーシングアップのための指定管理料の見直しを検討している。

問 安全確保の観点から導入は難しい。ほかの手法で支援をしていきたい。

答 人口増につながる

問 本市は地域別将来推計人口で生産年齢人口減少率が九州で下位19位。1位の福津市の人口増加の要因をどう考えるか。

答 交通利便性、比較的安価な地価、豊かな自然、子育て支援などが人口増につながっている。本市にも同様の理由で転入する人が多いと捉えている。



問 東郷小のプレハブ校舎解消に併せて、示現神社の急傾斜地や忠霊塔跡地を有効活用したい。

答 関係者と協議する。

(※1) 交付率…再交付、更新を含むこれまでに交付されたカード枚数の割合
(※2) 取得率…実際に保有されているカードの枚数の割合(廃止されたカードの枚数を除いたもの)



植栽などの管理について



問 道路植栽の見直しや道路のり面の樹木の伐採などを適切に行う必要があると考えるが、都市計画道路石丸河東線の整備に関する内容や管理方針は。

答 道路の横断防止や景観を考慮し、植栽帯を設け管理している。また、のり面は、表面保護を目的に整備を行っている。令和6年度から植栽の適正管理を行う目的で、管理方針などの調査・研究を進め、適切な対応を行いたいと考えている。

問 公園の利活用促進を考慮した管理運営の在り方を検討すること



石丸河東線の歩道の状況



教員の働き方改革を進めるために



問 GIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台のタブレット端末や、デジタル教科書の一部導入を行ったが、その結果、教員の働き方はどう変わったか。

答 授業支援アプリが導入され、教員と児童生徒もしくは児童生徒同士が双方向で学習することができ、また、教員間での教材の共有や授業準備にかかる時間や負担の減少、授業展開の効率化、採点時間の減少など、大きく寄与していると考えている。

問 効率向上のため、



・東郷小学校の将来像は



図書館・読書のまちづくり推進を



問 図書館行政、読書のまちづくりの考え方は。

答 読書でかがやく未来を築くまちを目指す。子ども、市民の読書活動推進のため、学校図書館事業や市民図書館事業に取り組み、気楽に本を手にとってもらう環境をつくっていききたい。学校図書館では、読書活動や読書指導の場の読書センターとしての役割に加え、学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしたり深めたりする学習センター、さらには、情報のニーズに対応したり、児童生徒



の情報収集、選択、活用能力を育成したりする情報センターなど、学校図書館を時代に即した多くの機能を持つものにし、子ども、先生、保護者など学校全体で活用することが大事と考える。市民図書館では各年齢層に応じた読書活動の支援を積極的にを行い、読書のまちづくりを行いたい。



自由ヶ丘地区の未来像について



令和6年度施政方針の中で、自由ヶ丘地区では交通結節点を核にした拠点整備に向けて官民連携で取り組むとある。

問 拠点整備の背景は。

答 地区を横断し、JR赤間駅へ続く幹線道路と国道3号が交差する場所に複合的な都市機能を持つ拠点整備を行うことが地区の価値をさらに高め、将来にわたり住み続けられるまちへと再生するため欠かせないと考える。

問 自動運転の実証事業などの進捗は。

答 令和6年度に官民連携の共同体を組織



自動運転バス（※イメージ）



防災対策の反省と教訓



2024年元日を襲った能登半島地震では多くの人命が失われるなど、深刻な被害が発生した。本市はこの能登半島地震の経験をしつかり踏まえて震災の教訓を学び、本市の災害対策に役立つよう研究していかねばならないと考える。

問 市は、今回の能登半島地震に対する地方自治体などの対応についてどのように対応しているか。

答 能登半島では厳しい状況が続いており、現時点では、十分な情報の収集、分析が難しいと考えている。政府



議員研修会を行いました

2月1日に大正大学の江藤俊昭教授をお迎えして、議員研修会を行いました。江藤教授は、三重県議会議会改革諮問会議会長をはじめ、全国のさまざまな議会関係の会議に参加し、議会に関する多くの著書を執筆しています。

研修では、市政に関する重要な課題などについて議員間での討議を行う議員間討議や議会基本条例の見直し、政策形成サイクルなど、議会の在り方について講義していただきました。

本市の議員活動・議会活動にとって大変参考になりました。今回の研修で学んだことを今後の議会活動に生かしていきたいと思っています。



研修には、福津市議会の議員のみなさんも参加しました。

地域から出た意見を市長に提出しました

3月18日に、昨年実施した河東、吉武、大島の3地区の各地区コミュニティ運営協議会の役員を中心としたメンバーとの座談会で出た意見を報告書にまとめ、市長に提出しました。

神谷議長から伊豆市長に報告書を提出しました。▶



コミュニティ会長会と意見交換会を行いました

2月7日にコミュニティ運営協議会会長会と議員で、「コミュニティの今後の在り方について」を議題に意見交換会を行いました。

公共交通の課題、自治会の加入率の低下や高齢化、地域活動への支援など、さまざまな課題について話し合い、相互理解を深めました。



12人のコミュニティ会長と19人の議員が一堂に会し、話し合いました。

市議会議員って何をする人??



私たちが「宗像市」を住みよいまちにするためには、みんなでどうしたらよいか考えていかなければなりません。でも、市民全員が集まって話し合うのはとても大変です。そこで、市民の代表を選び、私たちの代わりに話し合いをしてもらいます。その代表が「市議会議員」で、議員の集まりが「市議会」です。今回は、市議会議員についての疑問にお答えします。

Q

議員は何人いるの？

A

定数は20人

宗像市議会の議員定数は20人です。現在、19人で構成されています。平均年齢は4月1日現在で57.5歳、男性は16人、女性は3人います。

Q

議員って何歳からなれるの？

A

25歳以上

市議会議員は宗像市に住んでいる満25歳以上の市民の中から、市民が選挙で選んだ代表の人です。選挙で選ばれると4年間、市議会議員として活動します。

Q

次の選挙はいつ行われるの？

A

10月27日(日)

4年に1回選挙が行われます。現議員の任期は令和6年10月31日までとなるため、次の選挙は令和6年10月27日に投票が行われる予定です。市議会議員を選ぶことができるのは、満18歳以上の市民です。

次の選挙では…



新しい取り組みとして、ふれあいバスとコミュニティバスを利用して期日前投票所で投票した場合のバス料金を無料とする移動支援や、市内2高校2大学でマイクロバスなどの車両を活用した移動式期日前投票所の開設が行われる予定です。

Q

議員の仕事って？

A

市民の声を市政に反映させることが議員としての主な役割です。ここでは、主な仕事について紹介します。

① 議会への出席

主に市長から提出される議案(条例や予算、契約など)について審議し、議決することで市の行政運営が正しく行われるようチェックします。また、市の施策や方針について質問し、市の見解を問うことで、問題点を明らかにしたり、施策の提案を行ったりします。

② 調査・研究

行政や市民生活についての調査をしたり、他市の先進的な取り組みなどを視察し、研究したりします。また、市民のみなさんからの意見や要望を行政に伝えたり、次の議会で質問を行うための準備をしたりします。

③ 市民への報告

議会で話し合ったこと、決定したことを市民のみなさんに議会だよりやホームページ、議員個人の活動の中でお伝えします。

Q

選挙に行った方がいいの？

A

選挙に行きましょう！

今までの宗像市議会議員選挙の投票率は右の表の通りです。市議会議員選挙は20の議席を争う選挙でもあり、1票がとても大きな意味を持ちます。過去には、1票未満の差で当落が分かれたこともありました。

市議会議員選挙投票率

平成20年10月	平成24年10月	平成28年10月	令和2年10月
57.31%	52.04%	46.44%	47.62%



編集後記

新年度に入り、新旧入れ替わりの何かと忙しい時期ですが、気持ちを新たに襟を正して「難しいことを分かりやすく、硬いことを柔らかく」ということを市民目線で伝えることが重要であると考え、今後の議会だよりにより生かしていきたいです。

(木藤 裕司)

※1 予算第1…一般会計
※2 予算第2…特別会計・企業会計

▼一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。

▼請願の提出締切日は5月28日(火)です。

▼本会議と委員会は、ホームページで中継しています。スマートフォン、タブレット端末でもご覧いただけます。

※日程・内容などが変更になる場合があります。傍聴などの際は事前にホームページで確認するか議会事務局へお問い合わせください。

日	期	内容
6/4	火	本会議 (議案上程、提案理由の説明)
5	水	本会議(一般質問)
6	木	本会議(一般質問)
7	金	本会議(一般質問、大綱質疑)
10	月	本会議予備日
14	金	総務常任委員会
17	月	社会常任委員会
18	火	建設産業常任委員会
19	水	予算第1特別委員会(※1)
20	木	予算第2特別委員会(※2)
26	水	本会議 (委員会報告、質疑、討論、採決)

6月

定例会の日程